

【様式①】令和6年度 学校評価書(小・中・特別支援)

学校名 岐阜市立華陽小学校

校長名 江崎 麻美

| 市の重点課題                          | 学校の重点項目                                                                                                              | 自己評価 | 達成状況                                                                                                                                                | 学校関係者評価委員会から                                                                                                                                 | 改善の方向                                                                                                                                |
|---------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 希望あふれる未来を自ら拓く力を育むための教育課程の編成     | ・タブレット端末を調べ学習・学習強化に使用するだけでなく、自己表現のツール・対話的な学習の道具として活用できる児童を増やす。70%以上。<br>・家庭での自主学習「わく勉」の継続的な取組と質の向上を図る。               | B    | ・タブレット端末による自己表現については、授業の中で自分の考えや意見を伝えるツールとして、1年生を除く学年で活用ができた。<br>・家庭学習に宿題を加えたことで、「わく勉」の取組率が下がった。それでも、毎日「わく勉」に取り組む児童も多くいるため、個別最適な「わく勉」方法を考えていく。      | ・タブレット端末の良さはわかるが、調べたいことの答えがすぐに出てしまう。いろいろな本や資料を調べて、自分の知りたいことを推測する力が下がってきているのではないかと。タブレット端末とアナログを上手く使い分けられることができる子どもたちに育ててほしい。タブレット端末がすべてではない。 | ・自己表現の方法について、タブレット端末を使うのか他の方法で行うのか、より効果的な方法を各担任が考えて取り組む。<br>・今年度、家庭学習のやり方について、各児童が各々の生活に位置付けることができたと思われるため、来年度は、個別最適な量と質の向上を図る。      |
| コミュニティ・スクールの機能の充実と岐阜市型小中一貫教育の推進 | ・「ぎふMIRAI's」を軸にして、華陽地区の人・もの・ことを知り、探求的に学び、華陽の一員としての自己の生き方を考える。<br>・梅林中との連携を継続し、「小中合同あいさつ運動」「華陽防災教室」などの活動で小中一貫教育を推進する。 | A    | ・コミュニティスクールの機能を活かした地域との連携を今年度も十分に果たすことができた。<br>・あいさつ運動、防災教室、音楽鑑賞会など、華陽小を卒業した梅林中の生徒と活動したことにより、伝統を守る意欲が高まったり、先輩に憧れたりする機会となった。                         | ・「華陽地区人材マップ(仮)」の作成は、是非作っていただきたい。<br>・挨拶することの意味を、再度指導をしてほしい。校内で出会うと元気にあいさつしてくれるが、校外で出会うと、まるで別人のように知らんぶりになる子が多い。子どもたちを守るための挨拶であることを再確認してほしい。   | ・「MIRAIタイム(総合的な学習の時間)」に、講師として招聘できる地域人材を、各担任が探すことができるように、「華陽地区人材マップ(仮)」を作成する。<br>・あいさつ運動、防災教室は継続する。その他にも連携できる行事があれば、積極的に連携を図る。        |
| あたたかさや働きがいにあふれる学校づくり            | ・「あったかハートりんごの木」「あったかハートタイム」「にこにこ宣言」などの活動を通して、いじめを許さない、居場所がある学校を創る。華陽笑・楽・幸。<br>・会話・対話ができ、温かい雰囲気職員室経営を推進する。            | B    | ・あったかハート活動による取組は、全校的に活発にできた。一部の学年で、心無い言動が数多くあり、周りの児童や保護者が不安になったり心配したりすることがあった。<br>・職員間では、お互いに声をかけ、ねぎらうことで概ね温かい雰囲気で職務が遂行されていた。                       | ・発達段階に応じた指導は、これからは是非お願いしたい。<br>・教員のモチベーションに差を感じる。仕事中心の先生・子ども中心の先生。みんな子ども中心になってほしい。                                                           | ・児童の発達段階に応じた指導が行われるよう、職員全員で全校児童を育てていく意識を高め、誰一人として悲しい思いをすることのないように取り組んでいく。<br>・お互いに声をかけ合い、いたわり合って、笑いが溢れる職員室経営を管理職が率先して行う。             |
| 災害、事故、感染症、生徒指導事案等に対する安全性の確保     | ・危機管理意識を高くもち、素早く・的確に・誠実に対応することを心がけ、児童の命を守るとともに、安心して楽しく生活できるように見守り・認める意識も高くもつ。ここタン実施95%以上。<br>・実効性のある命を守る訓練に取り組む。     | A    | ・児童の様子に変化に敏感に気付いたり、心のアンケートや日頃の悩みに真摯に相談にのったり、トラブルには迅速に対応することができた。ここタンの実施率も95%以上。<br>・様々な場面での命を守る訓練を企画し、取り組んだ(休み時間の不審者対応訓練等)。                         | ・学校管理外の訓練を、実際の訓練でなくても、クイズ形式などでもやってはどうか。<br>・子どもの話から、訓練で身に付けたことがよくわかる。ありがたい。<br>・校務員さんがすぐに対応してくださり、感謝。<br>・子どもの目線に立った安全点検を行ってほしい。             | ・朝の挨拶タッチ、ここタン、ダブルサポーター、心のアンケート、教育相談週間など、児童が相談しやすい環境を継続するとともに、職員の感知の精度を高める研修や日常会話を大切にする。<br>・職員自身の訓練になるような命を守る訓練を企画し、臨機応変に対応できる力を付ける。 |
| 教育環境と学校財務環境の整備及び効果的な活用          | ・来年度の教室増を見据えて、施設課と連携を図り、教室の改修を進める。<br>・学校財務が適正かつ正確に行われるよう、ダブルチェック以上を行う。<br>・物品を大切に使用する意識を教職員も含めた学校全体で高める。            | A    | ・学校運営協議会の委員の力添えもあり、学級増に対応する教室を確保することができた。<br>・事務、教頭、校長の三者がチェックを行い、学校財務のミスは、ほとんどなかった。<br>・スクールサポートスタッフと事務が中心となって物品を整頓し、誰もがわかりやすく使いやすい環境を整え、全職員で意識した。 | ・校庭の複合遊具が、ずっと使えない状態である。子どもたちは大好きな遊具が、使えないまま目の前にあることは悲しい。早く新しいものにしてもらえないのか。                                                                   | ・学校財務に関わっては、今年度同様、事務・教頭・校長の三者がチェックを行い、ミスをできるだけ少なくする。<br>・職員間の報・連・相を大切に、業務に差し障りが無いように、一人一人が心がける。                                      |

HPアドレス: <http://gifu-city.schoolcms.net/kayou-e>